

発達評価法 II

科目ナンバリング DEP-204
選択 2単位

近藤 清美

1. 授業の概要(ねらい)

人の発達を評価するとはどういうことなのか?それは心理検査をすることなのだろうか?いや、そうではないだろう。発達を視るということは、対象者について、環境と相互作用しながら、過去を背負い未来を展望する個人のありようを理解することである。本講義はその一端に触れることを目指す。
本講義では、5つの事例を通じて、各発達段階での困難にアプローチする具体的方法を考える。
授業では、事例を提示するので、心理検査をするだけでなく、聴取や行動観察によってどのような情報収集を行うのか、具体的に考える。また、自分たちで実際に心理検査や行動観察を行ったり、ロールプレイをするなどして、実践的に進める(受講人数や授業形態によってやり方は変わる可能性がある)。

2. 授業の到達目標

- ①発達評価における包括的アセスメントを理解し、人の発達について多様な見方ができるようになる。
- ②発達上に生じる心の問題に対するアセスメント法について理解する。
- ③発達評価の結果に基づいてデータを読み取り、自分なりに考え、考えを発表できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業の中で5事例についてのレポート課題(70%),内容はその都度提示する。授業中での討論への参加と発表(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

本郷一夫 子ども理解と支援のための発達アセスメント 有斐閣選書
黒田美保・柘植雅儀 これからの発達障害のアセスメント:支援の一步となるために 金子書房

5. 準備学修の内容

事前に事例についての資料を渡されることがあります。必ず読んで学修しておいてください。事例を読み込み自分で報告書を作成し、次の週に持ってきて討論する場合があります。準備をしてから授業に望むようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・レポートを提出することで単位が出ます。
- ・授業での討論には積極的に参加してください。
- ・授業中の私語や迷惑行為に対してはペナルティを科すので注意してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 発達の問題に対する包括的アセスメントとは(オンライン)
- 【第2回】 勉強ができないA君のアセスメント
- 【第3回】 知的能力:CHC理論とK-ABC-II
- 【第4回】 知的能力:DN-CAS,その他
- 【第5回】 幼稚園の登園渋りをするB子さんのアセスメント
- 【第6回】 問題行動,緘黙,習癖
- 【第7回】 親子関係のアセスメント:ストレンジ・シチュエーション,クロウエル法
- 【第8回】 親子関係のアセスメント:ドールプレイ,物語完成法,家族画
- 【第9回】 孤立無援の大学生C君のアセスメント
- 【第10回】 ドールロケーションテスト,家族イメージ法
- 【第11回】 子育てが楽しくないD子さんのアセスメント
- 【第12回】 育児不安と育児ストレス,ソーシャルサポート
- 【第13回】 キレル中高年E男さんのアセスメント
- 【第14回】 認知症,認知機能検査
- 【第15回】 アセスメントを支援につなげる,支援を見直す